

イベント REPORT

現役
フォレスト
ワーカー
Talk Show

2023.1.15 sun
@日報ホール

2023年1月に新潟市で行われた「森林(もり)の仕事エリアガイドダンス」にて新潟県内のフォレストワーカーが林業という仕事の魅力や現状を語るトークイベントを開催しました。林業の現場で活躍する人たちのリアルな声を誌面で再現します!



左から司会を務める林業ライターの桑原知子さん、佐藤剛さん(33歳・林業経験7年目)、杵淵覚さん(45歳・林業経験6年目)、服部拓巳さん(22歳・林業経験4年目)※年齢と林業経験はイベント開催時のもの

桑原知子 (林業ライター)
佐藤 剛 (株式会社グリーンフォレストス 青葉組新潟団)
杵淵 覚 (中越よつば森林組合)
服部拓巳 (株式会社丸山)

— 服部さんが行う、ロープワークを使った特殊伐採について教えてください。
服部・近くに建物がある場所の木を倒すときに木が建物に倒れないように伐つていく方法で、チェーンソーを持って木に登り、木をロープで吊った状態にしてダルマ落としのように上から少しずつ木を伐つていきます。重機が入れない狭い場所にある木も伐ることが出来ます。
— 地上で木を伐るより大変そうですね。
服部・どの位置なら安定して作業ができるかを突き詰めていくと、木の上でも地面の上と同じように作業できます。障害物のある現場に応じて伐採後の動線やロープの張り方など一連の作業プランを立てます。最初は木登りが怖かったですが、だんだん木の上の方が心地良くなってきました(笑)。朝8時には木に登り、お昼

です。木を植えられない要因のひとつに造林を専門にできる人材不足があったので、それなら、自分がやろうと思えました。
— 佐藤さんが目指す林業とは?
佐藤・まずは新潟県で造林の専門チームを作ることが課題です。もうひとつは、新しい森づくりに挑戦したいと思っています。生物多様性に配慮した、生き物と共存できる森づくりで木材生産とは違った森づくりを目指したいです。
— 佐藤さんにとって林業の魅力は?
佐藤・心とは自然の中で仕事ができ、気持ちが良いこと。もうひとつは山の現場と同じところがないので常に試行錯誤しなければいけない。それがすごく面白くて、飽きない仕事だと思います。
— 佐藤さんの会社は働き方もユニークです。
佐藤・現場仕事は1日6時間勤務で、3日働いて1日休むというローテーションなんです。そのおかげで体に負担なく働けます。
— 最後に会場の皆さんに



— 杵淵さんは39歳で林業に転職しました。不安はなかったのでしょうか。
杵淵・不安はありませんでした(笑)。ただ、実家が山を持っていたので山仕事は身近な存在で、自分に何ができるのかも興味はあったんですよ。
— 現在の主な仕事は?
杵淵・入社して3年間は「緑の雇用」というキャリアアップ支援の研修を受けて、さまざまな技術を身に付けました。4年目に班長になり、5年目からは総合職で現場の管理や指導を行っています。



伐る木もたくさんあるし、木を育てる仕事もある。その一方で山の放置が進み、問題は山積み。それらを解決する一端を担えるのは非常に魅力的です。あと、山を整備する前後では山の景色が変わります。整備が終わった後の山の景色に毎回、感動します。それが林業の醍醐味だと思います。
— 転職を考えている方へアドバイスをお願いします。
杵淵・私は6年目ですが知識も技術も、まだまだ学ぶことがあります。林業が分かるまで5年位かかると思います。1年や2年で「自分には向いてない」と判断せずにまずは5年、じっくりがんばってみてほしいです。
— 佐藤さんは2020年10月に造林を専門とした林業会社の村上拠点立ち上げに参画したばかりです。
佐藤・うちは植栽や育林がメインで伐採を行いません。
— 造林に着目したのは?
佐藤・前職の林業事業体は主伐がメインでした。僕の中では林業は木を伐って植えていくものだと思っていたん



一言お願いします。
服部・林業にはさまざまな作業があるので興味がある人は話を聞いてみてください。林業人口が増えるといいなと思っています。

— 実際に働いてみての感想は?
杵淵・作業はチームで動きます。1年目は一番下っ端で年下の先輩がいろいろいいて、知らないことばかりで付いていくのに必死でした。2年、3年経つと先輩ができて班長になり、どのように伝えると仕事やりやすくなるか悩みました。今は管理する立場で現場の人達への指示を考え、ステップごとに頭を使います。林業は体を使う仕事のイメージですが、実際は頭を使う仕事というのも楽しいです。
— 杵淵さんにとって林業の魅力は?
杵淵・夢は無量大です。日本は山が多く、

— 造林に着目したのは?
佐藤・前職の林業事業体は主伐がメインでした。僕の中では林業は木を伐って植えていくものだと思っていたん



佐藤・現場仕事は1日6時間勤務で、3日働いて1日休むというローテーションなんです。そのおかげで体に負担なく働けます。
— 最後に会場の皆さんに

